

藤岡市 議会だより



発行日 平成13年11月1日 発行 藤岡市議会 編集 藤岡市議会だより編集委員会 印刷 三和印刷株式会社
藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第16号



平成13年10月14日開催された「平井城上杉管領絵巻」

9月定例会の あらまし

定例会は、9月4日から9月18日までの15日間の会期で開催されました。

藤岡市税条例の一部を改正する条例の一部改正についてなど22議案が提出されました。

また、議員提出議案として1議案が提出されました。

4日〓 本会議 会期の決定、議案22件を上程、うち12議案を即決。

5日〓 経済建設常任委員会。

10日〓 決算特別委員会。

11日〓 決算特別委員会。

13日〓 本会議 一般質問。

14日〓 本会議 一般質問。

18日〓 本会議 委員会付託、議

員提出議案1件を即決。

一般質問

第3子以降の幼稚園・保育園の保育料無料化について

大戸 敏子

問 藤岡市の第3子以降の保育料無料化の現状とその予算について、又他市について。

答 保育料は、同時入所の第3子以降は無料。第2子は基準額の2分の1です。他の10市でも同時入所につき第3子以降が無料。非同時入所では、前橋市と高崎市が3才児迄無料。桐生・太田・渋川各市でも一部条件付で無料（以上保育園）。

幼稚園については、保育料減免はありません。前橋市が3才以下の条件で公立は無料、私立は年18万円を限度に補助。高崎・太田・桐生・渋川各市も条件付で補助。

問 前橋市のこの制度の予算が1億600万円で当市の

予算規模に置き直すと24400万円です。第3子以降の保育料無料化につき、25000万円を限度に予算を配分し、その枠内で当市独自の制度を検討しては。

答 当市も日本一いい子育て支援をしていく気構えで進んでいるので今後の課題として。

日野地区の諸問題について

斉藤 千枝子

問 「日野高山振興計画案」が提示されたが、住民の皆様への知らせ方、又具体的にどのように進めていくのか伺いたい。

答 市の広報、新聞掲載、又状況に応じリーフレットの配布を考えている。事業実施は国県の補助金の関係や地元のご協力を頂き時期を調整しながら取り組んでいきたい。

問 管理ができず放置されている山林の対策について伺いたい。

答 現在坂野から小柏までの作業道等を開設し、ぐんま

の木切り出し支援又間伐については日野地区を中心に土佐保全森林緊急間伐対策事業等80haを行っている。平成16年度に鬼石町に県産材供給基地が完成する予定。林業関係の相談は林業組合や市にお話しして頂き、国県事業に取り込む中で間伐の推進を図っていききたい。樹木転換を視野に入れ、森林の持つ公益的機能を生かしながら事業推進をしていく。

新町の可燃ごみ受け入れについて

佐藤 淳

問 藤岡市の指定ごみ袋の販売は、商工会議所と業務委託契約を結び販売をしておりますが、新町のごみ袋と価格に大きな差があり、又県内11市の中で最も高い価格で販売しております。行政は安価なごみ袋を市民に提供する責任があると思いますがそこで商工会議所との委託契約を、本年度をもって破棄し、市が責任を持って競争入札制度等を用いてこの事務を行う意志が

あるか、あいまいな答弁では市長は、主催者である市民の利益よりも、特定の団体や特定の企業の利益を優先しているかと判断せざるをえないので、市長の明確な答弁をお願いいたします。

答 当然、私はこういう商工業を束ねている商工会議所が窓口になることが最もいい行政が直接そういうことに対して関与できるようなことではない。あくまでも、これからもそうした考えの中でやっていきたいと思えます。

ちらん藤岡の現状について

佐藤 淳

問 施設全体の事業評価について伺います。

答 絶対的には順調な滑り出しであると考えております。私は極めて厳しいスタートであると思っておりますが藤岡クロスパークの監査役である収入役に、クロスパークの財務状況をどのように把握しているのか伺います。

答 収入役より答弁なし。

問 総体的に順調とする2、3年の間に、新たな債務損失保証の設定、増資、花の交流館の管理等の一般会計からの支出、このような当初計画を変更するの措置は、必要ないと思うが、このことについて伺います。

答 議会だつてあるから、その時やればいいではないですか。そういうことが起きてきたら、それは議会の皆さんがやればいいことであつて議会の皆さん方の判断にゆだねていくことも必要だ。

学校教育について

金子 勝治

問 大阪教育大学付属池田小学校の児童殺傷事件に対し当市における、学校安全対策の状況について伺いたい。

答 各学校の門扉改修や設



置を完了し、校舎内外の点検と共に、全教室等へ警報ベルを取り付け、全教職員にホイッスルを配布したが、門扉の開放は登下校時以外は、一カ所に限定し校舎以外の巡視を行っていた。

パートワールは教職員やPTAが実施しているほか、婦人会や補習員或いは区長会や老人クラブへも、子供への声かけをお願いし、児童生徒の命を守ることを最優先とする行動をしている。

問 文部科学省モデル事業では、パソコンで図書館と市内16の小中学校を結び、図書検索や予約が簡単になったとの事であるが、その効果について伺いたい。

答 「学校図書館情報活性化モデル事業」によって、平成12年度には、前年に比べて約2万1000人も利用者が増加し、貸出し冊数では約4万冊も増加した。また今年度から新たに「学校図書館資源共有型モデル事業」が文部科学省から指定されたほか、読み語りの会ネットワークも10団体約200人で9月に発足し、子育て支援や学校の授

業支援も行われていくことになった。

ごみ問題について

金子 勝治

問 「2001年みらい子ども議会」で、神流小の永井さんが「マイバッグ」活用を通して、ごみ問題を指摘していたが、指定ごみ袋の材質強化や無料化、レジ袋の代替使用やマイバッグ等について、市の方向性を伺いたい。

答 ごみ排出量を昭和61年と平成12年で比較すると、1人当たり1855キログラムから346キログラムへと増加したが、指定ごみ袋は1人当たり34枚から29枚に減少している状況であり、今後も市民の皆様のご意見を聞きながら、検討を重ねて行きたいと思っております。

当市の選挙における選挙公報の発行について

青木 寛

問 地方分権の時代を迎える明る選挙の推進と民主主義の健全なる発展のために、選挙公報の発行状況を伺いします。

答 県内では吉井町、大泉町、子持村が条例を制定しております。また、本年6月館林市も条例を制定しており、前橋市や沼田市も条例化に向けて検討中とのことです。

問 当市における選挙公報の発行について伺います。

答 当市における選挙公報の発行ですが、選挙管理委員会の発行で、9月3日に市長、議長に対して選挙公報発行に関する要望書を提出しました。選挙公報の発行は選挙管理委員会では条例の提案権がありませんので、市長及び議会へその要望書を提出しました。今後、議会等々協議をしながら選挙公報は発行の方向で検討させていただきます。

完全学校

5日制について

新井 雅博

問 教育の水準維持、子供たちの学習負担、休日における家庭や社会での過ごし方など問題についての対応策について。

答 行政としても、こうした問題について幅広い立場から現在検討しているところでありますが、改定を十分に理解し、教育過程を編成し、実施していけば学力の低下、ひいては教育水準が維持できない結果につながることはないと考えます。次にこれからの学校では地域との連携が学習効果を高める上で、児童生徒のより良い人間形成の上でも大切であると考えます。行政の取り組みの一例をあげれば、情報誌「キッズメールぶじおか」



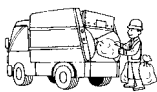
の発行、こどもゆめくらぶの実施等がありますが、これから更に、地域で活動されておりますスポーツ少年団、子供会、保育連などの活動も支援し、学校・家庭・社会の相互の補完により三位一体となつた子供の望ましい環境づくりにも努めたいと考えております。

児童の安全対策について

新井 雅博

問 健康（熱中症対策）面からの学校施設（扇風機）の対応について。

答 今年の暑さを考えますと、学習しやすい環境の配慮が必要なることは痛切に感じておりますが、今のところ暑さや寒さに対応できるたくましく藤岡っ子を育てることを基本として考えております。しかし扇風機の関係につきましても、高崎市等で実施を始めておりますので、各方面のご意見をいただきながら検討していきたいと思っております。



ペット条例に

ついて

三好 徹明

問 市内で玄關先に放置された犬の糞の始末を飼い主に注意したところ、網から離れた犬に全身を噛まれ、入院する事件が発生いたしました。被害者は現在告訴中ですが、調査してみると付近住民の方7名ほどが被害にあっておりました。犬の糞によるトラブルによって生命が危険にさらされた事件です。市民が安心して暮らせるようペット条例制定の考えはないでしょうか。

ららん藤岡全体事業

経過について

三好 徹明

問 花の交流館などの施設の運営管理など委託している

第三セクタークロスバーク株式会社第2期決算報告の中で、井田公認会計士は、営業開始から1年が経過する間に、テナント店の半数が入れ替わり、クロスバークのどんな問題がテナントに対しどのように影響しているか検討改善が必要だ。また、花の交流館については6600万円の損失が発生している。早急に改善しないと第三セクタークロスバークの存続に重大な影響を及ぼす」と指摘しており、公共施設である花の交流館、飲食物販、農産物直売所など個々の平成12年度事業計画と売上高実績の対比について伺います。

答 公共施設であるららん藤岡各施設の売上高の平成12年度計画と平成12年度売上高実績との対比を説明いたします。

花の交流館入館料は計画の25%。飲食物販売上高同38%。農産物直売所売上高同76%。地域食材レストラン売上高同57%。観光物産館売上高104%。高速バス利用者数は22%でした。

要望書の取扱に

について



松本 啓太郎

問 要望書について市民の方から、各区や団体からと数多くあるかと思えます。要望書の内訳と年間総数及び採択された要望事項の概算費用の金額は。

答 平成10年度49件、採択34件、概算費用2億1千万円、平成12年度114件、採択71件、概算費用6億5千万円です。

問 要望書の内容は。

答 道路の拡幅と舗装補修、側溝の新設等、用排水路の改修及び補修、交通安全施設の設置。

問 要望書の審査基準は、ない。

問 要望審査会の構成は、助役、企画部長、総務部長、秘書企画財政の各課長

問 都市建設部、経済部各

部長を審査委員に加える考えは。

答 担当部の説明を聴き審査している。

問 軽微な補修改良は担当部で処理するところが金額は。

答 30万円以下。

バランスシートの

導入について

茂木 光雄

問 藤岡市におけるバランスシートの導入、さらに藤岡市財政白書を作成し市民に公表する考えがあるかどうか。

答 バランスシートの導入については、普通会計ベースで作成し今年度中に公表する考えである。市全体のバランスシートについても準備が整い次第作成し遅くとも12月までに公表したいと思う。

公共工事に

ついて

茂木 光雄

問 公共工事における入札の透明性、公平性の確保及びコスト縮減対策の確立は今後の様に行われていくのか。

答 今年5月に公共工事コスト縮減対策委員会を発足し、入札契約制度・公共工事の設計・発注の効率化・公共工事構成要素のコスト縮減・実施段階での合理化・規制緩和等に関する具体的な施策を検討中。

北藤岡駅周辺土地

画整理事業について

針谷 賢一



問 区画整理内の地権者約900人を対象とした供覧が終了しているが、最近、地権者から市は何年完了させる



予定なのかとの声があるが、今後市の取り組みについて伺いたい。

【答】 事業完了は平成22年度となっておりますが、まだ約174億円必要であり、残り10年であるが、財政的にも不可能ではないかと思う。そこで、更に10年延長した場合年次投資額を8億円から9億円必要となります。このようなことから担当としては平成32年頃を、完了年度にしたいと考えています。今後、実施計画等において関係部署と十分協議を重ね、出来る限り短縮できる様対策し努力していきたい。

【問】 区画整理内の雨水対策と汚水対策の現状と今後の取り組みについて伺いたい。

【答】 雨水対策については、雨水幹線を区画内から国道17号を横断し、烏川運動場を横切り烏川へ排水する計画であり、平成14年度に国土交通省高崎工事事務所に工事の委託をお願いし、平成15年度から区画内までの実施を計画しています。また、汚水幹線については、平成12年度から工着手をいたしており平成17年度末に

は区画内の一部が供用開始できる様、調整しながら事業を進めてまいります。

北藤岡新駅 設置について

針 谷 賢 一

【問】 新駅設置については、すでに28年が経過しているが今後の取り組みについて伺いたい。

【答】 北藤岡駅区画整理事業に依り、駅前広場と周辺の面的整備の充実をはかり駅一体となった街づくりを更に推進し、また乗降客の確保については、大型ショッピングセンターや近年、入学希望の多い福祉専門学校などの誘致に関係機関と協議して行きたい。

藤岡市の行財政 改革について

笠 原 史 嗣

【問】 公共工事のコストについてどのように改革を進めていくつもりか。又、受注希望型指名入札を取り入れる考え

はあるのか伺いたい。又、藤岡市の指名で何故、県外の大手ゼネコンを指名しなくてはならないのか伺いたい。

【答】 現在5月より検討委員会を組織し会議を重ねています。月一回のペースで開催し重点を絞って検討していきたい。受注希望型指名競争入札については現状では取り入れられないがオープン入札したり公募制にしたりすれば県内の高崎市・前橋市・埼玉方面の業者が参加し市内の企業育成に矛盾を生じます。今後よく状況を検討していきたい。次に県外大手ゼネコンについてですが、大型工事などは技術力とか施工能力・担保能力などのさまざまな理由により指名をさせて頂いている。

スポーツ政策 について

笠 原 史 嗣



【問】 学校体育・社会体育などを一元化したスポーツ政策

をつくり総合型スポーツクラブを藤岡市も育成して行く考えはあるか伺いたい。

【答】 群馬県では大田市と柏川村が国の補助事業として取り組んでいます。当市としても有資格者の育成と確保、そして公共施設の有効活用のあり方などを先進地を見ながら考えていきたい。又、施設管理の立場の人間、体育課のように住民サイドに立つてスポーツの促進・普及をすすめる立場の人間、それと一番の市民、この三者が一元化できるようにしていきたい。その中で一案として市民体育館の中にスポーツ振興課をつくり、そこに精通した職員を集めて拠点基地をつくる事も一つの選択地として今後いろいろな形で検討していきたいと考えています。

八高線新駅設置 について

青 正 敏

【問】 南藤岡駅設置基本調査業務委託（1102万5千円）の報告では平成27年の利用者予測は89人であり南駅設置は

無理ではないか。北藤岡駅への外郭からのアクセス道は何年度で整備出来るか、駅舎建設の時期と思うが。寺尾・藤岡バイパスの完成は、高崎南乗降客増加が図れば駅舎の早期建設になると思うが市独自の促進運動は。

【答】 平成25年位で人口減少に転じるが、藤岡南部開発構想において南駅を核とする定住拠点の創出や振興を加えられ藤岡駅乗降客の増加を図りれば南駅建設は完全に無くなった駅ではない。設置予定地周辺での公的な団地造成等、優良な住宅供給や住環境整備をすれば開発に伴う転入人口などの増加も有り得ると考えている。北藤岡駅へのアクセス道路整備は10年位で完成したい。区画整理地区内の道路は財政投資に影響されるが新駅設置に合わせ鋭意努力したい。

掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録をご覧下さい。

